

ベーシックウイング

中学社会

テーマ 歴史 7 武士のおこりと成長

1 次の各文を読み、あとの問いに答えなさい。

- ㉞ 各地にあらわれた武士の中でも、特に有力だったのは {ア 源氏 イ 藤原氏 ウ 蘇我氏} と平氏である。
- ㉟ 11世紀の半ばすぎになると朝廷では、天皇が位を幼い子にゆずり、上皇や法皇となった後も政治を行う {ア 摂関政治 イ 律令政治 ウ 院政} が行われた。
- ㊱ 1156年に、上皇と天皇がそれぞれ武士を味方につけて戦う {ア 後三年の役 イ 保元の乱 ウ 文永の役} がおきた。
- ㊲ 1159年の平治の乱で勝利をおさめた {ア 源義朝 イ 平清盛 ウ 藤原純友} は、日宋貿易に力を入れた。
- ㊳ 宋では、儒学の新しい教えである {ア 朱子学 イ 陽明学 ウ 禅宗} が生まれた。
- (1) 上の文の { } の中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。
- (2) ㉞について、このような政治をはじめた人物はだれですか。
- (3) ㊱の人物は、武士としてはじめて何という位につきましたか。
- (4) ㊳について、宋の時代に発達したものを下からすべて選び、記号で答えなさい。
- a 木版印刷 b 鉄砲 c 綿織物 d 水墨画 e 紙 f 羅針盤 g 蒸気船

2 次の文の () にあてはまる語句を下から選んで書きなさい。

10世紀ごろから、地方では豪族が自分の土地や財産を守るために武装しはじめ、やがて (①) と呼ばれるようになった。

(①) 団の棟梁の中で特に有力だったのは、天皇の子孫である (②) と平氏である。

10世紀の中ごろには、関東地方で (③) が、瀬戸内海で (④) が反乱をおこしたが、朝廷は (①) の力を借りてようやくこれをしずめた。

藤原純友 大名 平将門 武士 源氏 藤原氏